

ToMMo News

vol.26

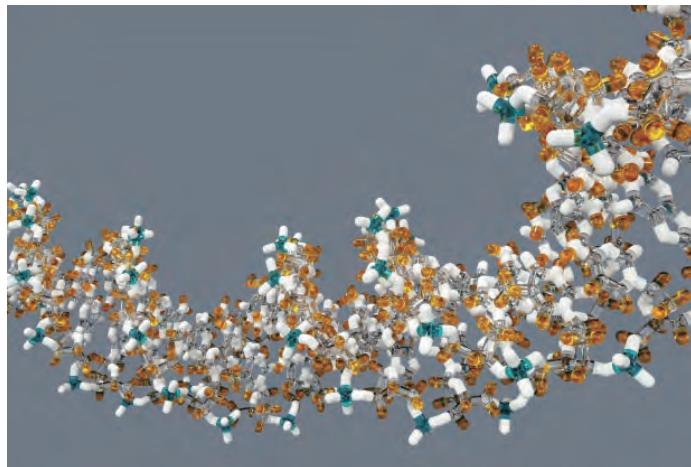


東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 ニュースレター

2020・21年と2年続けて個人情報保護法が改正されました。2022年4月からの施行を前に、関係する倫理指針の改訂に向けた作業が急ピッチで進んでいます。私たちは、バイオバンクとして非常に多数の方々から個人情報を預かりして事業を進めており、法・指針の改正へも丁寧に対応していきます。指針の改訂案については、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の三省が素案をまとめて、パブリックコメントが募集されています。是非皆様も、共により良い制度の設計を進めていくべく、ご関心を寄せていただければと存じます。

GWAS解析結果をショーケースに

高血圧、糖尿病、がん等の疾患、身長や体重、人々それぞれに多様な形になつてあらわれるこうした現象は、遺伝要因と環境要因が絡み合つておきるものであります。それらが遺伝情報のどこが特に影響しているのかを網羅的に解析する代表的な方法が、GWAS(ゲノムワイド関連解析:Genome-wide association study)です。ToMMoと岩手医科大学いわて東北メディカル・メガバンク機構は、コホート調査で収集されたさまざまな健康関連項目に対してGWASを実施した結果を“ショーケースGWAS”として公開しました。今回、公開されたのは146の表現型に対するもので、これらをもとに、多くの研究者がより具体的に詳細な研究計画を練る材料となり、また、世界中での民族集団を超えた精密医療の研究にも貢献することができます。公開はjMorpで行われていますので是非、アクセスしてみてください。
<https://jmorp.megabank.tohoku.ac.jp/gwas/>



健康調査アプリが続々とスタート

コホート調査に、続々とスマートフォンを用いたアプリが導入されています。ToMMoでは、2021年9月より「ToMMoバイタルアプリ」、10月より「マイToMMoアプリ」の2つのスマートフォンアプリを導入しました。これに先立つて地域支援仙台センターでは、8月よりスマートフォンを用いたドライアイに関する調査を実施しています。現在、長期健康調査では3種のアプリが活用されており、モバイルによる情報提供・情報収集の仕組みを本格的に取り入れた全国でも有数の取組となりました。



ToMMoバイタルアプリ

歩数・体重・血圧・体脂肪率等の記録アプリ



マイToMMoアプリ

マイナンバーカードを利用した健康情報記録アプリ



ドライアイリズム

ドライアイを5分でチェックできる研究アプリ

PRESS RELEASE

最近のプレスリリースから

11/15

呼吸器疾患に関連する遺伝子座を同定
～慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息の病因解明へ～

慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸器疾患は主要な死因となっており、世界的にも公衆衛生上の重要な課題となっています。東北大学大学院医学系研究科 呼吸器内科学分野の山田 充啓講師、ToMMoの元池育子准教授、小島 要講師らのグループは、COPDを含む呼吸器疾患と深く関わる遺伝的バリエントを同定しました。

11/16

臍帯血DNAメチル化情報の公開
～胎児期の情報を集積した世界初の試み～

東北メディカル・メガバンク計画では、三世代コホート調査に参加した妊婦の方々の臍帯血、および岩手医科大学附属病院産婦人科を受診した妊婦の方々から分娩時に収集した臍帯血中のDNAメチル化状態を解析し、国内外の研究者が参照できるデータベースとして公開しました。

詳細はウェブでご覧いただけます。

www.megabank.tohoku.ac.jp/news/category/pressrelease

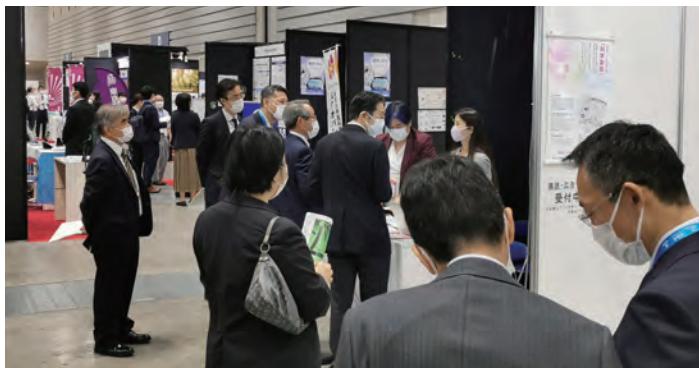


最近の出来事から

10/13-16

BioJapan2021と日本人類遺伝学会第66回大会にブース出展

2021年10月13(水)-16日(土)、パシフィコ横浜で開催されたBio Japan 2021と日本人類遺伝学会第66回大会にブース出展しました。展示は、医療情報ICT部門 荻島 創一教授が研究開発代表者を務めるゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム事業(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・ゲノム研究プラットフォーム利活用システム)「ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク利活用促進に向けたバイオバンク・ネットワーク構築と運用支援に関する研究開発」としてToMMoが中心機関となって運用している「バイオバンク横断検索システム」の紹介と検索体験、それに参画するわが国のバイオバンク・ネットワークのご紹介を中心に、ToMMoの試料・情報の利活用等についてのご案内も行いました。



詳細はウェブでご覧いただけます。

www.megabank.tohoku.ac.jp/news/category/news



10/26

内閣府 健康・医療戦略推進事務局 長野 裕子次長らが来訪

2021年10月26日(火)、内閣府 健康・医療戦略推進事務局 長野 裕子次長、同 神田 忠雄参事官、文部科学省研究振興局ライフサイエンス課 阿部 幸子ゲノム研究企画調整官、日本医療研究開発機構ゲノム・データ基盤事業部 水野 充部長らがToMMoを訪問されました。

山本 雅之機構長から当機構の概要説明を行い、質疑応答のあと、スーパーコンピュータ、クライオ専用透過型電子顕微鏡やバイオバンク、アレイ解析室、共用端末室などの施設を視察いただいたほか、統合データベースのデモンストレーションをご覧いただきました。

ご視察後の意見交換では、解析データを幅広く利活用いただく仕組みの構築についてを中心に多様な議論が行われました。



11/9-10

知のフォーラム シンポジウム「How To Analyze the Metabolome Information: Nutrition」開催

2021年11月9(火)-10日(水)、知のフォーラム シンポジウム「How To Analyze the Metabolome Information: Nutrition」がImperial College LondonのQueenie Chan先生、慶應義塾大学の原田 成先生らを演者にお迎えし、オンラインを活用したハイブリッド形式で開催されました。メタボローム情報を前向きコホート研究に取り入れる研究は、ToMMoでも積極的に進められています。初日9日のシンポジウムでは、特に飲食物の摂取や代謝との関係に焦点を当て、国際的な枠組みINTERMAPを中心的な役割を担われているChan先生、我が国の先導的な取組である鶴岡みらい健康調査を推進されている原田先生、そして、ToMMoのコホート調査をもとに行われている研究について竇澤教授から講演があり、議論が行われました。



■ 編集後記

新型コロナウィルスの感染拡大が一段落し、いわゆるリアルでの交流が再開し始めています。私たちも、10月に横浜で開催されたBioJapan、日本人類遺伝学会に出展して参りました。リアルでの交流のいいところは、ちょっとした挨拶や質問などが可能となるところ、展示会・学会の出展ではそうした機会に多数恵まれました。その中で、バイオバンクというものの認知度が数年前よりも格段に向上し、期待も大きくなってきていることを感じます。より使われ、役に立つバイオバンクに更に進化していきたいという思いを新たにしました。

＼メールマガジン「ToMMo News Mail」配信中！／

月に一度、プレスリリースや研究成果、特集記事などの最新情報をお届けします。ぜひ、ご登録ください。

ご登録は[こちら](https://forms.gle/ajtRk2KkYEzaLbPLA)

<https://forms.gle/ajtRk2KkYEzaLbPLA>



最新情報



2021年12月発行

東北大大学 東北メディカル・メガバンク機構 980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

TEL : 022-717-8078(代表) URL : www.megabank.tohoku.ac.jp

Twitter : @TohokuMedMbank Facebook : @tohokumedmbank

本紙の収録内容の無断転載、複写、引用等を禁じます。